

数 学 I 学 習 指 導 案

学 級	1 年 5 組	教 室	2 3 1 教 室	指 導 者	
単 元	第 1 章 方程式と不等式		教科書	改訂版 新編 数学 I (数研出版)	
指 導 目 標	1 実数の概念をまとめさせ、実数と数直線上の点との対応を理解させる。 2 不等式の性質を用いて、1 次不等式の解法を理解させる。 3 2 次方程式の解の公式を理解させると同時に、それを用いて解を求める力を身に付けさせる。	指 導 計 画	第 3 節 方程式と不等式 6 1 次方程式と不等式・・・・・・・・・・ 5 時間 (本時はその 3 時間目) 7 絶対値と方程式・不等式・・・・・・・・ 3 時間 8 2 次方程式・・・・・・・・・・ 5 時間		
本時の主題	1 次不等式の解法				
前時の課題	問題集「基本と演習テーマ 数学 I (数研出版)」P.2 2 練習 5 2 を解いておく。				
目 標	1 不等式の性質を確認し、それを利用して 1 次不等式の解法を理解させる。 2 移項による式変形に習熟させる。 3 問題をいろいろな面から見て解法を考えることの有用性を考えさせる。				
指 導 過 程	指 導 内 容	時 間	指 導 上 の 留 意 点	資 料 ・ 教 具 ・ 評 価 の 観 点 等	
	導 入	1 0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の内容について復習・確認をさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復習の内容から本時の内容につなげる。                      &lt;関心・意欲・態度&gt;</li> </ul>	
	展 開	1 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不等式を満たす <math>x</math> の値の集まり(集合)が不等式の解であることを理解させる。</li> <li>・不等式の性質を使って解いていることを意識させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不等式の性質を理解している。                      &lt;知識・理解&gt;</li> <li>・工夫をして問題に取り組んでいる。                      &lt;数学的な見方や考え方&gt;</li> </ul>	
	整 理	1 0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移項することの根拠となる不等式の性質を忘れないように注意させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な解答を書いている。                      &lt;表現・処理&gt;</li> </ul>	
	整 理	1 0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>x</math> を含む項を左辺に、定数項を右辺に集めるように指導する。</li> <li>・負の数を掛けると、不等号の向きが変わることに留意させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解法の手順を正しく表現できている。                      &lt;表現・処理&gt;</li> </ul>	
整 理	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要点を整理する。</li> <li>・本時の内容が理解できているかを確認させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訂正やまとめが十分である。                      &lt;知識・理解&gt;</li> </ul>		
次 時 の 課 題	問題集「基本と演習テーマ 数学 I (数研出版)」.基本 5 6 を解いてくる。				
備 考	商業科 A 型 生徒数 3 9 名				